

名古屋市感染症発生動向調査情報

2019年(平成31年)第4週(2019年1月21日~1月27日)

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部) 2019年1月30日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0.html>

◆本市の状況

〔トピックス：インフルエンザ〕

- 本市における第4週(1月21日~1月27日)のインフルエンザの定点当たり患者報告数は43.69人/定点で、先週(55.77人/定点)より減少しました。
- 本市の定点当たり患者報告数(16区平均)は警報の指標である「30」を上回っており、愛知県内では2018年12月27日よりインフルエンザ警報が発令されています。
- インフルエンザウイルスのうち、近年、国内で流行しているのは、AH1pdm09亜型(2009年に流行したインフルエンザ)、AH3亜型(いわゆる香港型)、B型(ビクトリア系統、山形系統)です。2018/19シーズンはこれまでにAH1pdm09亜型が全国的に多く検出されています。
- インフルエンザは例年1月から2月にかけて流行のピークを迎えます。小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合がありますので注意が必要です。

〔麻しん〕

- 本市における第4週(1月21日~1月27日)の麻しんの患者報告数は3人で、2019年の累計患者報告数は6人になりました。
- 麻しんは空気感染をし、その感染力は非常に強いと言われており、感染期間は発症1日前から解熱後3日後とされています。
- 麻しんの治療は、特異的な根治療法がなく対症療法を行います。
- 予防はワクチン接種で、MRワクチンの定期予防接種が1歳(第1期)と小学校入学前年度(第2期)に行われています。

〔風しん〕

- 本市における第4週(1月21日~1月27日)の風しんの患者報告数は1人で、2019年の累計患者報告数は2人となりました。また、全国の風しんの累計患者報告数は207人(第3週まで)となりました。
- 風しん患者の中心は30代から50代の男性で、過去に風しんにかかったことのない方や風しんの予防接種を受けたことのない方は、接種について検討が必要です。

〔定点把握感染症の発生動向〕

- インフルエンザの定点当たり患者報告数は、前週の 55.8 人から 43.7 人に減少したが、依然報告数の多い状態が続いている。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は、前週の 0.8 人から 1.0 人に増加した。
- 咽頭結膜熱の定点当たり患者報告数は、前週の 0.1 人から 0.2 人になった。
- 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は、前週の 0.1 人から 0.2 人に増加した。

〔1 類～5 類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2019 年 第 4 週	2 類	結核	14	<ul style="list-style-type: none"> • 女性、39 歳、結核性リンパ節炎 • 男性、20 歳、結核性胸膜炎 • 男性、45 歳、結核性腹膜炎 • 男性、81 歳、肺結核 • 女性、30 歳、肺結核 • 男性、48 歳、肺結核 • 女性、58 歳、肺結核 • 女性、85 歳、肺結核 • 男性、81 歳、肺結核及び粟粒結核 • 男性、59 歳、無症状病原体保有者 • 男性、24 歳、無症状病原体保有者 • 女性、41 歳、無症状病原体保有者 • 女性、36 歳、無症状病原体保有者 • 女性、23 歳、無症状病原体保有者
2019 年 第 4 週	5 類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	<ul style="list-style-type: none"> • 女性、87 歳、菌検出検体：尿、菌種：<i>K.pneumoniae</i>、感染経路：以前からの保菌 • 女性、95 歳、菌検出検体：血液、菌種：<i>E.aerogenes</i>、感染経路：不明
2019 年 第 4 週	5 類	急性脳炎	1	<ul style="list-style-type: none"> • 男性、9 歳、インフルエンザウイルス A
2019 年 第 4 週	5 類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	<ul style="list-style-type: none"> • 女性、60 歳

2019年 第4週	5類	侵襲性肺炎球菌感染症	2	<ul style="list-style-type: none"> 男性、71歳、菌検出検体：血液 女性、48歳、菌検出検体：髄液、血液
2019年 第4週	5類	梅毒	4	<ul style="list-style-type: none"> 男性、25歳、早期顕症梅毒（1期） 女性、17歳、早期顕症梅毒（2期） 女性、33歳、早期顕症梅毒（2期） 女性、20歳、無症状病原体保有者
2019年 第4週	5類	百日咳	8	<ul style="list-style-type: none"> 女性、19歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 男性、12歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：愛知県 男性、30歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：国内（都道府県不明） 男性、14歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：名古屋市 男性、36歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：愛知県 男性、7歳、検査方法：検体からの病原体遺伝子の検出、感染地域：愛知県 男性、52歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：愛知県 女性、23歳、検査方法：抗体の検出、感染地域：名古屋市
2019年 第4週	5類	風しん	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、67歳、検査診断例、感染地域：名古屋市
2019年 第4週	5類	麻疹	3	<ul style="list-style-type: none"> 女性、10歳、検査診断例、感染地域：名古屋市、フィリピン 男性、20歳、検査診断例、感染地域：三重県、愛知県 女性、11歳、検査診断例、感染地域：名古屋市、フィリピン

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2019 年第 3 週	5 類	アメーバ赤痢	1	• 男性、72 歳、腸管アメーバ症、感染経路：経口感染、感染地域：愛知県
2019 年第 3 週	5 類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	• 女性、86 歳、菌検出検体：血液
2019 年第 3 週	5 類	梅毒	1	• 男性、49 歳、早期顕症梅毒（1 期）
2019 年第 2 週	3 類	腸管出血性大腸菌感染症	1	• 男性、31 歳、O26、VT1、感染地域：名古屋市
2019 年第 2 週	5 類	後天性免疫不全症候群	1	• 男性、43 歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触（異性間）、感染地域：国内
2019 年第 2 週	5 類	梅毒	1	• 男性、29 歳、早期顕症梅毒（2 期）

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2019 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	35（10）〔0〕 〔0〕【1】
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	0

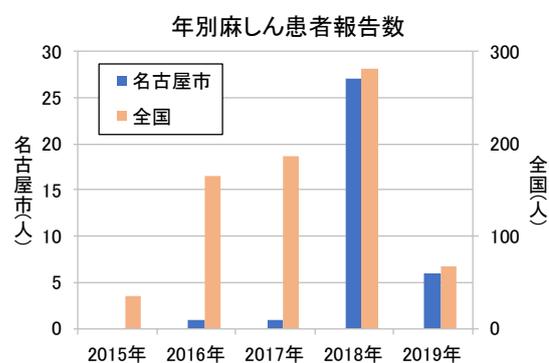
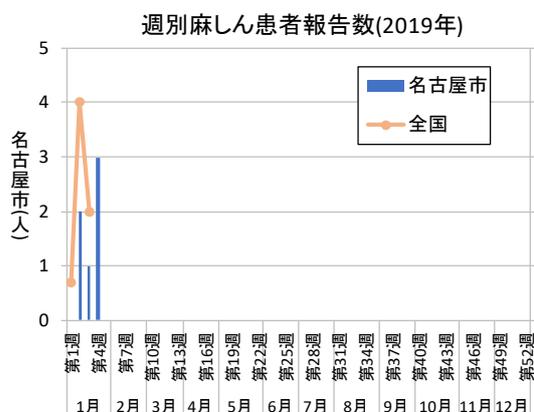
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3 (1)
3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	0
4 類感染症	レジオネラ症	1
5 類感染症	アメーバ赤痢	3
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	4 【1】
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	2 (1)
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	10
5 類感染症	梅毒	13 (4)
5 類感染症	百日咳	19
5 類感染症	風しん	2
5 類感染症	麻疹	6

累計は 2019 年第 1 週からの診断週による累計、() 内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[] 内は疑似症累計数を再掲、【 】 内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕 内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉 内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の麻しん報告数：2019年1月30日作成〕



週別麻しん患者報告数(2019年)

名古屋市	第2週 (1/7～ 1/13)	第3週 (1/14～ 1/20)	第4週 (1/21～ 1/27)					合計(人)
		2	1	3				

※第4週(1月27日)まで 表は患者報告のあった週のみ掲載

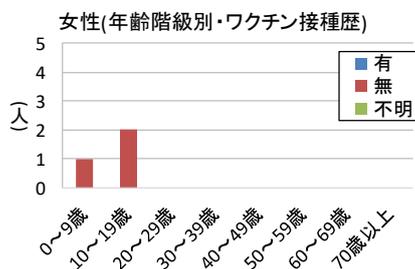
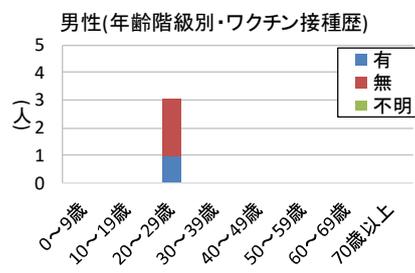
年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	6※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	13※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	282	67※3

※1: 第4週(1月27日)まで ※2: 1月29日時点 ※3: 第3週(1月20日)まで

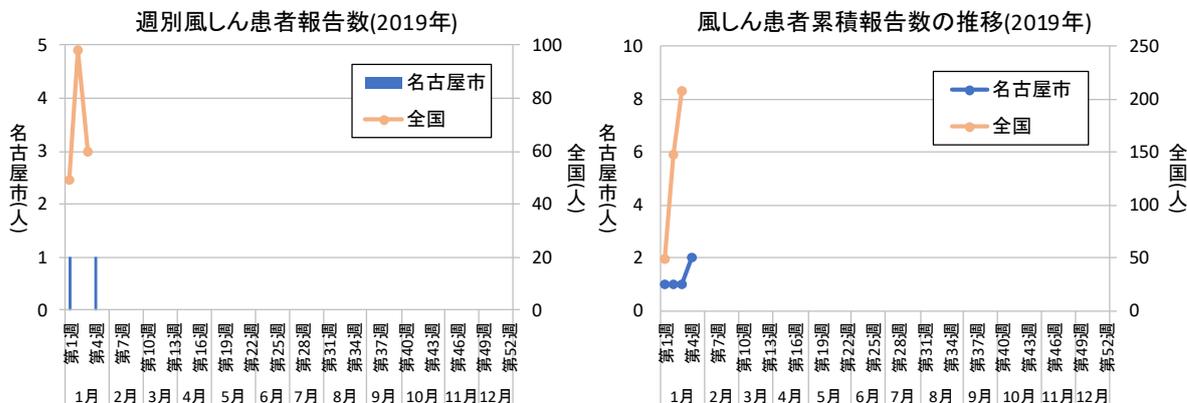
麻しん患者の性別・年齢群別・ワクチン接種歴(2019年名古屋市)

		ワクチン接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0～9歳				0
	10～19歳				0
	20～29歳		1	2	3
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	1	2	0	3
女性	0～9歳			1	1
	10～19歳		2		2
	20～29歳				0
	30～39歳				0
	40～49歳				0
	50～59歳				0
	60～69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	0	3	0	3
総計(人)		1	5	0	6



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2019年1月30日作成〕



週別風しん患者報告数(2019年)

名古屋市	第1週 (12/31~ 1/6)	第4週 (1/21~ 1/27)	/							合計(人)
		1	1							

※第4週(1月27日)まで 表は患者報告のあった週のみ掲載

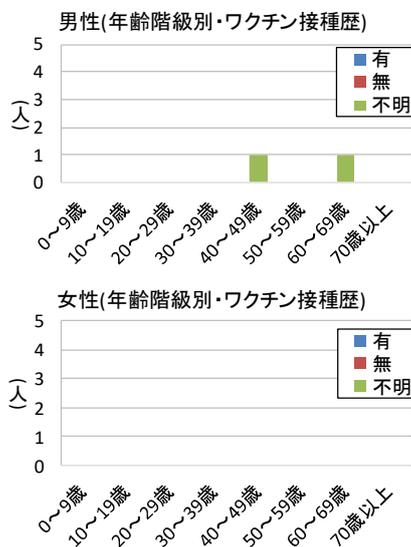
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	2※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	119	4※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	93	2917	207※3

※1: 第4週(1月27日)まで ※2: 1月29日時点 ※3: 第3週(1月20日)まで

風しん患者の性別・年齢階級別・ワクチン接種歴(2019年名古屋市)

	年齢階級	ワクチン接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0~9歳				0
	10~19歳				0
	20~29歳				0
	30~39歳				0
	40~49歳			1	1
	50~59歳				0
	60~69歳			1	1
	70歳以上				0
計(人)		0	0	2	2
女性	0~9歳				0
	10~19歳				0
	20~29歳				0
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		0	0	0	0
総計(人)		0	0	2	2



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻しん・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻しん・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

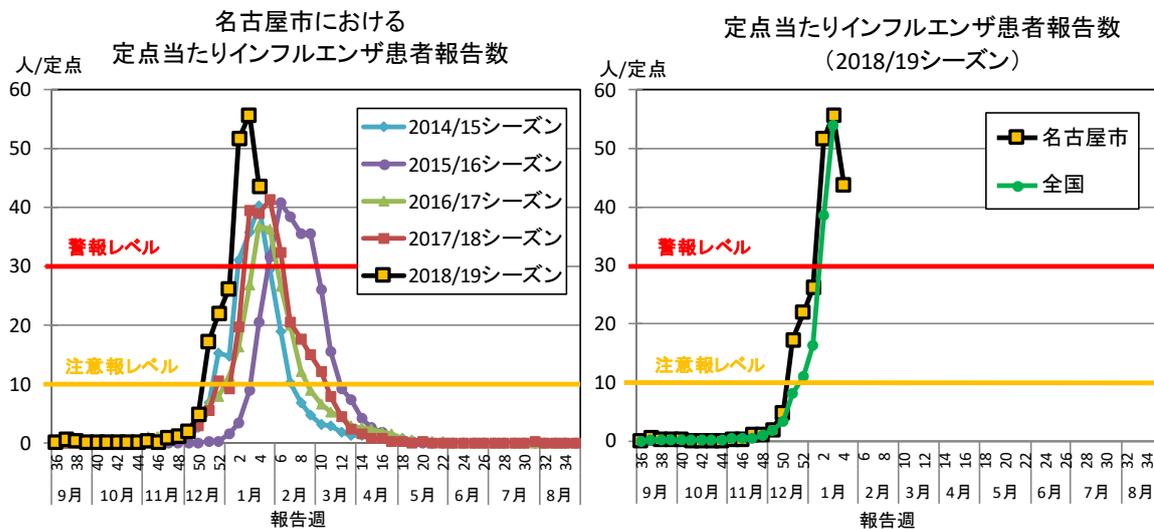
〔定点医療機関からの情報〕

インフルエンザ A 型 48 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 型 63 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 型 37 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 37 名 インフルエンザ B 1 名	定点医療機関（東区）
全てインフルエンザ A 型	定点医療機関（北区）
インフルエンザ 49 名。すべて A 型です。	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型 83 名、B 型 1 名、AB とも陽性 1 名、臨床診断 5 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 28 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 28 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 37 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A 型 13 人、B 型 4 人	定点医療機関（中区）

20代女性インフルエンザB型1名、その他インフルエンザA型20名	定点医療機関（中区）
全てインフルエンザA型	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：12名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：26名、臨床診断例：4名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：42名、インフルエンザB型：1名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：20名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：24名、臨床診断例：3名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：20名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：42名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：5名 B型：1名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型19名	定点医療機関（港区）
インフルエンザA型37名	定点医療機関（港区）
インフルエンザは、すべてA型です。男性135名 女性126名	定点医療機関（南区）
インフルエンザは、すべてA型です。男性25名 女性15名	定点医療機関（南区）
インフルエンザは、すべてA型です。男性11名 女性15名	定点医療機関（南区）

インフルエンザA型 34名、 臨床診断 2名	定点医療機関（守山区）
インフルエンザA型：33人@その他：9人	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型	定点医療機関（緑区）
65例中インフルエンザA型64名、インフルエンザB型1名でした。	定点医療機関（名東区）
インフルエンザA型37名でした。	定点医療機関（名東区）
全員インフルエンザA型38名・臨床診断1名	定点医療機関（天白区）

〔名古屋市のインフルエンザ患者報告数の推移：2019年1月30日作成〕



※名古屋市は2019年第4週、全国は2019年第3週までの報告数

定点当たり患者報告数(2018/19シーズン)

	第49週 (12/3～ 12/9)	第50週 (12/10～ 12/16)	第51週 (12/17～ 12/23)	第52週 (12/24～ 12/30)	第1週 (12/31～ 1/6)	第2週 (1/7～ 1/13)	第3週 (1/14～ 1/20)	第4週 (1/21～ 1/27)
名古屋市	2.04	4.86	17.34	22.00	26.23	51.66	55.77	43.69
愛知県	3.43	8.41	23.64	30.45	46.42	75.38	81.86	—
全国	1.70	3.35	8.05	11.17	16.30	38.54	53.91	—

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警戒の基準

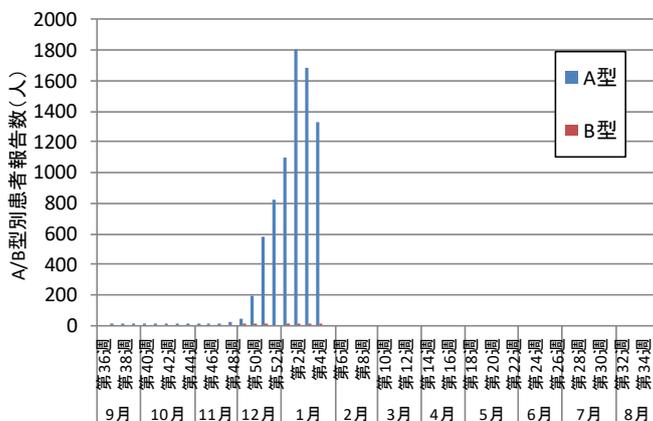
※愛知県内では、12月27日より「30」を上回る地域があったことから「インフルエンザ警戒」が発令されています

※報告数は各週公表時における速報値

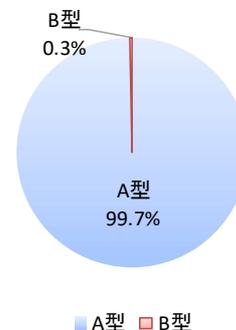
インフルエンザA/B型別流行状況

インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザA/B型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザA/B型別の患者情報を集計したところ、2019年第4週は、インフルエンザA型1330人、インフルエンザB型11人でした。2018/19シーズンの累計では、インフルエンザA型7668人(99.7%)、B型26人(0.3%)となっています。

インフルエンザA/B型別患者報告数(2018/19シーズン)
(定点医療機関からの情報による)



インフルエンザA/B型別患者報告数の割合(2018/19シーズン累計)



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

◆2019年第4週 患者報告数（疾病区別）、定点あたり患者報告数（疾病区別）、年齢階層別患者報告数（疾病別）

患者報告数（名古屋市）

2019年第4週（2019年1月21日～1月27日）

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ	212	157	171	247	219	81	132	86	126	213	244	362	291	100	196	221	3058	0.8	1.4
○RSウイルス感染症	3		3	3	2					3		2		1			17	1.3	0.9
○咽頭結膜熱	1	1		2						2		2	1		2		11	1.1	1.0
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	4	8	5	1	1			3	4	5	2	6	4	12	13	73	1.3	0.9
○感染性胃腸炎	19	2	26	23	18	6	21			15	49	11	8	1	16	16	231	1.0	0.8
○水痘	2	2	2	2								2	2		1	1	14	1.3	0.9
○手足口病		2											1				3		0.8
○伝染性紅斑			1		1	1	1				2		2		3	4	15	0.8	1.6
○突発性発疹		1		2		1				1		2					7	0.6	0.9
○ヘルパンギーナ																	0		
○流行性耳下腺炎					1										1		2		0.3
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎									1							1	2	2.0	2.0
△細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎																	0		0.0
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）																	0		0.0
計	242	169	211	284	242	90	154	86	130	238	300	383	311	106	231	256	3433		

*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。

セルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況（名古屋市）

2019年第4週（2019年1月21日～1月27日）

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	42.4	39.3	34.2	61.8	43.8	20.3	26.4	17.2	31.5	53.3	61.0	90.5	58.2	25.0	49.0	55.3	43.7
RSウイルス感染症	0.6		0.6	0.8	0.4					0.8			0.5		0.3		0.2
咽頭結膜熱	0.2	0.3		0.5						0.5			0.5	0.2	0.5		0.2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.0	1.0	1.6	1.3	0.2	0.3			0.8	1.0	1.3	0.5	1.2	1.0	3.0	3.3	1.0
感染性胃腸炎	3.8	0.5	5.2	5.8	3.6	1.5	4.2			3.8	12.3	2.8	1.6	0.3	4.0	4.0	3.3
水痘	0.4	0.5	0.4	0.5									0.5	0.4	0.3	0.3	0.2
手足口病		0.5													0.2		0.0
伝染性紅斑			0.2		0.2	0.3	0.2					0.5		0.4	0.8	1.0	0.2
突発性発疹		0.3		0.5		0.3				0.3			0.5				0.1
ヘルパンギーナ																	
流行性耳下腺炎					0.2											0.3	0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎									1.0							1.0	0.2

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ 太字の数字 は流行発生警報

■ 斜体の数字 は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値（左表）に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2019年第4週(2019年1月21日～1月27日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	16	32	110	128	145	204	154	167	168	135	128	374	141	205	239	229	166	131	116	70

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	1	6	6	3	1									
咽頭結膜熱		1	4	3	1	1	1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2		14	13	5	5	7	5	4	6	1	11
感染性胃腸炎	2	10	16	22	20	16	8	7	3	13	7	19	10	78
水痘			1			1	1	2	3	1	2	2	1	
手足口病				2		1								
伝染性紅斑				1		2	2	2			4	3		1
突発性発しん		3	3	1										
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎												1		1

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎																				
流行性角結膜炎															1			1		

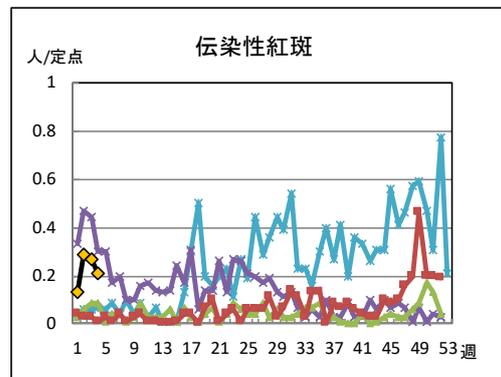
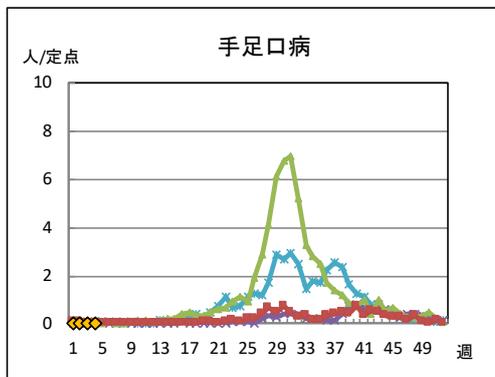
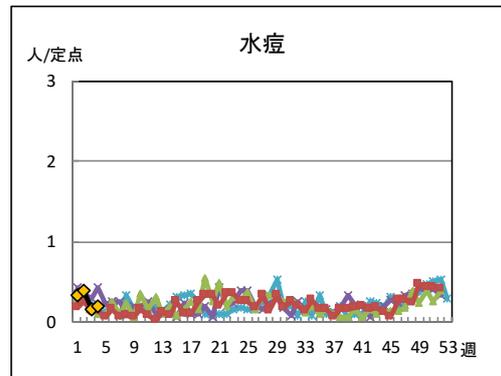
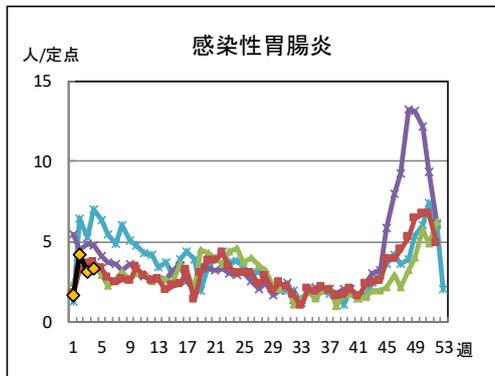
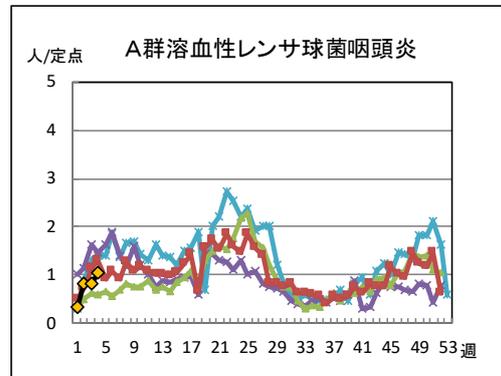
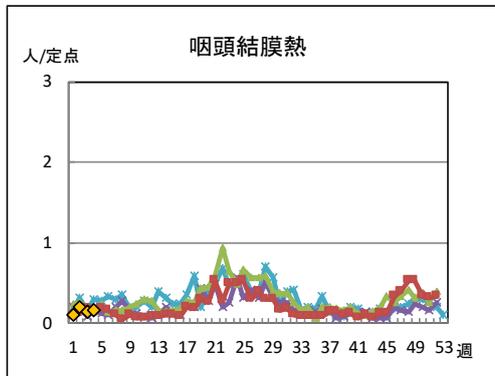
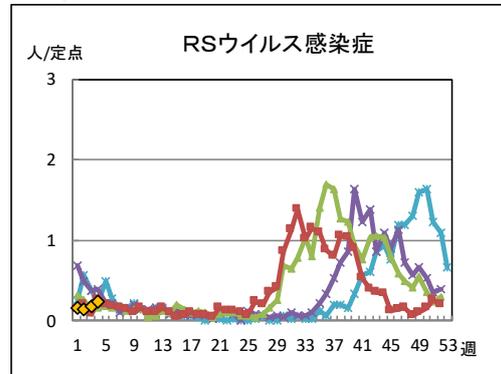
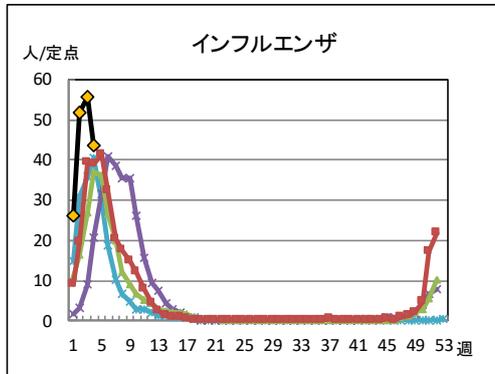
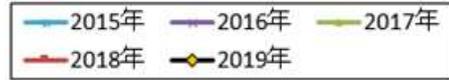
疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

〔インフルエンザ入院サーベイランス結果(基幹定点3カ所)〕

【2019年第4週:4件】 【2018/2019シーズン累計数:29件】

- 男性、6歳
- 男性、74歳
- 女性、84歳
- 女性、9歳

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2019年第4週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2019年第4週まで

